



）全国各地の取り組み

- 9月28日(日) 石川県喘息友の会 / 加南支部・金沢支部総会とバーベキュー
" 埼玉わっくら / 秋の交流会・秩父路とぶどう狩り
10月5日(日) 関西地区喘息患者の集い(大阪 此花会館・梅香殿)
" わかさぎ会・ぶどうの会・ほむらの会 / 喘息デー
10月18日(土) 北関東喘息友の会 / 喘息教室2008(宇都宮)
10月19日(日) 第5回関東喘息患者交流会(東京王子 北とぴあ)
11月2日(日) 新潟ゆきつばきの会 / 新潟喘息講演会(柏崎市)
11月8日(土) 福岡秋桜クラブ / 九州・中国地区喘息患者の集い(福岡)
11月16日(日) 福島きびたき会 / 成人喘息県民講座
11月19日(水) 金沢城北病院 / レベルアップ学習会(午前・午後・夜間)
11月24日(月) ほむらの会 / ほむら医療講演会(土岐市セラトピア)
11月30日(日) 茨城野バラの会 / 市民講座喘息教室(県南生涯学習センター)

全国各地で行われたこととなります。新しい人の参加、懐かしい人々との再会、有意義な講演、楽しい行事は来年も行うべく、早めに準備を開始しましょう。お世話下さった皆様、有難うございました。

）喘息患者のアンケート

今年度は特別に「喘息患者の生活・環境・意識調査2008」がありました。日本アレルギー協会理事長、東京大学名誉教授・宮本昭正先生が代表世話人となり、日喘連を含む日本の5つの患者団体が協力して取り組むという画期的なものでした。

約2000名のアンケートが調査本部で集計されたそうです。そのうち「わかば会」関係が804名、日喘連関係が284名でした。50%以上の協力できたということですから、責任を果たすことができました。封筒に名前と住所を明記した人にはお礼の品が届くそうです。ひとり1品です。

統計の結果発表は日本の史上初めてのものです、大きな意味があることです。この点でもアンケートを書いて送って下さった皆様、発送・集計にご協力下さった皆様に厚く御礼を申し上げます。

）喘息デー相談活動

10月22日(水)と11月12日(水)の2日間、成人喘息と小児喘息を午前と午後に分けて実施しました。成人喘息は合計22件で昨年より多くなりました。小児喘息は合計5件の電話相談があったそうです。

HP「喘息を克服するためのホームページです」に赤字で相談当日にご案内を徳田会長が明記して下ったのを見て、相談された人もいました。宣伝も大事ですが、マスコミの報道が無い中では、今の日本の状況ではこのようなものでありましょ。各地交流会の前到来年度は一度、設定します。そうすれば、各地の交流会をご案内・誘導できるからです。

）その他

ホームページ上に会員掲示板ができて、支え合い・交流が起きていること、喘息ホットニュースで熱心な情報提供が行われたこと、鼻や耳の問題、アレルギー性肉芽腫性血管炎について情報を掲載したこと、東京で成人喘息医療費無料制度ができたことなど、今年度のまとめに通じますが、大いに役立ちました。来年度も第17回喘息デー・喘息克服月間を行う予定です。